

## 留学報告書

記入日： 2021年7月20日

東京電機大学での情報	
学部／研究科	工学研究科
学科・学系／専攻	電気電子工学専攻
留学期間	2020年07月20日 ～ 2021年06月30日

留学先情報	
大学・機関名	クイーンズランド工科大学
国名	オーストラリア
留学先での所属・専攻・身分	所属（学部等）：工学研究科 専攻：電気電子工学専攻 在籍身分：大学院生

留学準備	
事前語学学習方法	留学に行く前に、3ヶ月以上最低でも一日2時間使って英語学習をしていた。その中でも IELTS の勉強が主な事前語学学習でした。
準備で苦労したこと	より高い IELTS スコアを取得するために、長時間の英語学習が求められた。また、一年間の留学は、少なくとも半年間の休学が必要ですので、半年間の休学に伴い、卒業研究を早めに完成させるために、少し苦労した。
ビザの種類	subclass 500
申請先	オーストラリア大使館
提出書類	COE、入学許可証、大学卒業証明書、大学院在学証明書、写真、財政証明書、英文成績証明書、戸籍謄本、パスポート、両親の収入証明書、在留カード、健康診断書
申請費用	47950 円
申込手順	代理による申請を行ったため、上記の書類を揃えた上で、代理の担当者にまとめて提出した。
ビザ取得所要日数	30 日
大使館等での面接	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 有→聞かれた質問：
他に留学に必要な準備	新型コロナ感染拡大のため、自宅で一年間 QUT オンライン授業を受講することにした。ずっと日本にいたので、必要な準備

	は特にない。
--	--------

現地到着後	
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有→ <input type="checkbox"/> 大学関係者 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 無→空港から大学までどのように移動しましたか？ <input type="checkbox"/> 電車・地下鉄 <input type="checkbox"/> バス・トラム <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
オリエンテーションの有無／時期／内容	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 時期： 内容：
渡航後必要な手続き	
大学の雰囲気	

生活について	
住居の種類	<input type="checkbox"/> 寮 (寮名)： <input type="checkbox"/> アパート／ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居の場所	<input type="checkbox"/> キャンパス内 <input type="checkbox"/> キャンパス外 キャンパスまでの距離： <input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車・地下鉄 <input type="checkbox"/> その他 ( ) で約 分
部屋の種類／同居人	<input type="checkbox"/> 1人部屋 <input type="checkbox"/> 2人部屋 その他 同居人： <input type="checkbox"/> 有 ( 人) <input type="checkbox"/> 無
共有部分	<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン <input type="checkbox"/> その他 ( )
食事	<input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 寮食 <input type="checkbox"/> 大学内学食 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ( )
ミールプランへの加入	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有→加入したプラン ( )
住居について注意事項	
銀行開設	<input type="checkbox"/> 行った <input type="checkbox"/> しなかった 銀行名：
生活費等支払い手段	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード <input type="checkbox"/> 海外専用プリペイドカード (キャッシュパスポート等) <input type="checkbox"/> その他 ( )

	アドバイス：
携帯電話	<input type="checkbox"/> 購入した <input type="checkbox"/> しなかった
現地での友人等との連絡手段	<input type="checkbox"/> LINE <input type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> WhatsApp <input type="checkbox"/> Gmail <input type="checkbox"/> iMessage <input type="checkbox"/> その他（ ）
病気や怪我等での通院	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有→ <input type="checkbox"/> 大学内のクリニック <input type="checkbox"/> 最寄りの医療機関 <input type="checkbox"/> その他（ ）
医療関係の注意事項等	

授業について	
授業期間	2020年 2学期： 07月20日～11月31日 2021年 1学期： 03月01日～06月30日
履修登録	<input type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 時期： 7月頃と3月頃 方法： <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> 志願書類に記入 <input type="checkbox"/> 国際オフィス等 <input type="checkbox"/> その他（ ）
履修した科目名	(2020年 2学期) Communication 1 Communication 2 Research in Engineering Practice Modern Control (2021年 1学期) Research Methods for Engineers Power electronics
授業・履修に関する注意事項	学期ごとに最大4科目を取ることを、おすすめは専門科目と総合科目二つずつ。

費用について			
項目	詳細	費用	支払方法
渡航費		0	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
ビザ	申請料+代理	79,150	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
住居費		0	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
学費		2,214,746	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
教材費		0	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
保険料		0	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
食費		0	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
日用品		0	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
交通費		0	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
英語試験料	英検、IELTS	140,700	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
健康診断		19,250	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
事前学習	受講料	94,221	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
			<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
			<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
総額（概算）		約250万円	

※以下、行数は文章量に合わせて調整してください。

#### 留学のきっかけ

学部生の時に良い成績を取れたおかげで、大学から神山奨学金応募に関するお知らせが届きました。一方、私は英語がとても大切な物だと思っています。今回の留学の機会、母国語が英語の人々と話したり、お互いに意見を交換したりすることをしたいと思っています。これをきっかけに、自分の英語力を鍛えたいと考えています。また、オーストラリアの大学で、他の観点から、基礎の理論知識を学ぶことも楽しみにしています。

#### 留学の目的

今回の留学で、様々な人と交流して、日本以外の国の人の考え方を知りたい、仕事や勉強などに対する観点を知りたい、どんな環境で生活しているのか知りたいと考えています。

将来、グローバルな会社で働くことが自分の目標です。海外の企業に派遣しても、現地の人と一緒に会話することで、仕事やコミュニケーションを円滑に進めることができる人になりたいと考えています。この留学で英語力やコミュニケーション能力、広い視野を身につけて将来の仕事に活かしたいと考えています。

#### 留学生活

新型コロナ感染拡大のため、自宅で一年間 QUT オンライン授業を受講することになりました。オーストラリアに行けなかったことに対して少し残念な気持ちがありますが、感動した点も多くありました。まず、QUT のウェブデザインと学生のためのシステムに感銘を受けました。この個人ページから当日および翌日のコーススケジュール又は自分で設定した学習リストを簡単に見つけることができるし、大学周辺のバス時刻表は常に表示してありました。QUT 独自のアプリをインストールしたら、携帯から簡単に個人ホームページや通知メールなどをチェックすることができますので、とても便利だと感じました。

また、オーストラリアと日本の授業形式の違いを感じました。オーストラリアの大学は1コースあたり12単位あり、各コースは週に三回に分かれて行われています。一般的には学生は学期ごとに3、4コースを履修し、つまり基本的に学期ごとに36または48単位を取ります。私は前期には、留学生向けの総合コース2つ、総合工学コース1つ、電気電子工学コース1つ「現代制御」を含む48単位を履修することになりました。後期には、自分の工学コース関わる「パワーエレクトロニクス」と研究力を育てるためのコース、全部で24単位を履修しました。

総合コースでは、理系出身の私ですが、専攻又は国籍が異なる学生と接触する機会が多くありました。授業では、社会で成功するために必要な能力や素養を定義し、先生は学生

と一緒にそれについて考えながら、生徒同士に意見交換するチャンス与えました。その上、この能力や素養をより深く理解できるように、多くの課題に次々と取り組みました。私自身にとって最大の収穫は、これら 2 つのコースの単位を取得することではなく、専門知識以外の重要な能力や素養について実感できたことでした。一方、工学コースでは、QUT が工学スキル（最新のソフトウェアのいくつかを教えるなど）だけ重視するのではなく、プロジェクトが与えられた時に学生のチームワーク能力にも期待されていると深く感じました。

一年間オンラインで受講したので、特に QUT のオンライン教育の対応に感心しています。学生はサイトから毎週の学習資料、ライブラリンク、ビデオ録画を簡単に見つけることができます。たとえば、教師は毎週生徒が繰り返し視聴できるように事前に録画していました。録画であっても、先生はパワーポイントの内容をひたすら読んでいたのではなく、パワーポにも添付の写真のように書いたり描いたりしましたので、録画でもまるでライブで受講しているかのように感じました。そして、ライブ授業があった時に、教師はライブのメリットを生かし、ソフトウェアを使ってグループディスカッションなどを行うのがよくありました。

一年間、良い学習環境で勉強していましたが、「この課題をどう解くのか」「一緒に話し合うパートナーが欲しい」「教室にいたら、質問がききやすくなるかな」と思うこともしばしばありましたし、単位を取得できるかどうか心配した時も多くありました。それでも結論として、今回の留学生生活を振り返って、とても有意義な一年間になったと感じました。

#### 留学を通して得たもの

留学目的の通り、様々な人と交流できた一方、他の国の人又は異なる専門の人の考え方は確かに出発点の違いが微妙にあると感じました。特に色々な人と話したり、課題など相談したりした結果、さらに人とのコミュニケーション能力の重要性を感じました。

学習の面では、授業資料は 100%インターネットからダウンロードできますので、OneNote、MATLAB などの学習効率を上げるソフトウェアの使用を常に求められます。私もこの一年間をかけて、手書きのノートから、このような自分にとって新しい学習方法に慣れてきました。自分にとって一つ成長した点だと考えています。

さらに、QUT は「自ら積極的に考え、自らの考えを主張し、なおかつ実際に行動に移す」のような行動力を重視していますので、QUT で受講したことで、私は一年前より積極的に学習に取り組むようになりました。留学が終了した今でも、この姿勢を保ち、積極的に物事に関わるよう心がけています。

#### 今後の学習計画

これから東京電機大学から卒業し、東京工業大学のパワーエレクトロニクスを専門とした博士課程に進学する予定です。博士課程では、海外の学者との交流や国際会議などさらに高い英語力が求められますので、引き続き英語を頑張ります。具体的には、毎日一時間ぐらい英語練習をして、そして週 3 回以上英語論文を読みます。今後の目標は IELTS スコア 7.0 をめざしてもっと勉強し、海外に行っても自然に外国の専門家と交流できる人になりたいと考えています。